

寮歌「花なき山」

寄宿舍茶話会歌の誕生

「鳳陽寮歌」として長く愛唱されてきたこの歌は、実は山口高等商業学校の前身であった旧山高時代の明治32(1899)年に誕生している。作者は佐々政一教授(国文学担当)である。寄宿舍に歌の無いことを残念がった佐々教授が、9月30日に開かれた自炊創立記念兼茶話会で発表し、全員で大合唱したのが始まりだった。

ちなみに、この茶話会は寮での食事が外部委託から自炊制度に変わったことを祝う会だった。当時は、「寄宿舍茶話会歌」と呼ばれていたが、山口高商時代の大正11年に寄宿舍が「鳳陽寮」と命名されて後は「鳳陽寮歌」となった。



現在の経済学部前庭にある寮歌碑

「花なき山」ってどの山？

本当のところは、わかっていない。^{ほうべんざん}鳳翩山？ 亀山？ 鴻の峰？ etc…と卒業生の間では諸説ある。いかにも地味で、山口らしい山都の質素な学生生活を歌っているが、日本の寮歌の中では非常に古く、百年以上も歌い継がれているものは、全国的にも数少ない。



明治末頃の山口